

路面のQRコードで誘導

目を不自由な人々を助けるためのスマートフォンアプリ

東京メトロ（東京都台東区）とIT系人材派遣会社のプログラレス・テクノロジーズ（同江東区）が、駅の構内を視覚障害者が移動できるようスマートフォンアプリで誘導するナビゲーションシステム「shikAI（しかい）」の実証実験を東京の地下鉄有楽町線辰巳駅で始めました。

クで進む方向などは分かるんだが、どれくらい歩いて方向を変えようのかをスマホが教えてくれるので、より安全でスムーズに歩けるんだ。

とても便利だね。

開発した会社によると、このシステムのは最初にかかる費用が少なくて済むことだ。特殊な機械は必要なく、点字ブロックがあればQRコードを貼り付けて、アプリをダウンロードすれば使えるんだ。

いろいろな場所でも使えるぞ。

NEWS しつもん箱

？ スマホが誘導するのは視覚障害者のために危険な場所や進む方向を示す黄色い「点字ブロック」に、スマホのカメラが読み取るQRコードのシールを貼っておくんだ。曲がる場所や階段の前、トイレや改札など、案内が必要な点字ブロックの場所ごとにシールがあれば、スマホのカメラを下に向けて歩くことで、案内が必要な場所でQRコードを読み取り、スマホが音声で「改札です。直進〇〇メートル」などと案内してくれる。

視覚障害者は点字ブロック

今は実験している辰巳駅の入り口からホームまでだけが、開発が進めば乗りかえをふくめて駅から駅への誘導や、外国語での案内もできそう。

障害者スポーツの祭典、2020年の東京パラリンピックには世界中から視覚障害者もやって来るので、たのしい案内役になるかもしれないね。



ナビゲーションシステム「shikAI」の実験に協力する大学生
11月6日、東京都江東区の東京メトロ辰巳駅

問題

- ① 「shikAI（しかい）」とは何ですか。
- ② どのように案内しますか。
「点字ブロック」に（ ）を貼る。
↓
それを（ ）で読み取る。
↓
スマホが音声で（ ）などと案内してくれる。

（小学4年生～総合的な学習、家庭学習など）

かほく
ワークシート